



May 2010



Afghan News

主な業績

全国評議平和ジルガについて

日程：6月2日-4日
 場所：カブール・ポリテクニク協会
 メンバー：全国集会のメンバーを代表する13のカテゴリー；地方評議会のメンバー；地方知事；全国ウラマー評議会のメンバー；元上院議員、著名な女性；古老と影響力のある部族長；遊牧民の代表；教育、文化、社会、市民社会の機関の代表；アフガン難民；事業家/ビジネスマン
 目的：国の平和計画に関する統一された声明を発表する

目次:

最新の話題	1-4
今後のイベント & 重要な日程	4
オマールの台所	5
アフガンの言葉を学ぼう	6

最新ニュース

平和と新たな機会のための平和ジルガ開催にむけて



農業省 (MAIL)が新しい評価と給与システムを開始するための雇用の編成変更に加えて、600の新たな雇用を発表

6月2日に全国評議平和ジルガが再建活動を助けるための重要なイベントの一環として召集される。

カブール議会は人々の意見と政府の平和プランに対する賛同を集めるために、アフガニスタンの全ての分野の代表者を集める。

農業の分野で働く大多数のアフガン人と国家の可能性を地域の農業ハブにするため、また、国家の発展に貢献するため、政府は農業を投資の最優先分野に選んだ。MAILは新しい評価と給与システムを導入する、最初の5つの官庁(外務省、教育省を含む)に含まれている。MAILは600の異なるレベルの新規雇用を発表した。

(Continued on page 2)

「農業省はその構造を拡大して更なるプロフェッショナルで技術的な事業分野に従事し、ミッションを達成します。」MAILの人材とキャパシティービルディング部のディレクターであるジャビッド・カイク氏は述べた。新しい構造には、新事業コーディネーションユニット、民間部門投資サポートユニット、灌漑に関する代理大臣の官庁が含まれる。多くの新規雇用は最近の大学卒業生を呼び込むように設計されている。

“チェンジ・マネージメント”はMAILが挙げた全国農業開発フレームワーク(NADF)の4本柱の一つだ。NAFDは経済成長を農場内外の雇用機会を増やすことで経済成長を促進することを目指している。

公衆衛生省、初の母子の健康に関する委員会のミーティング

公衆衛生省の政策副大臣兼代理大臣スラヤ・ダリル医師は、NMCS(母子の健康に関する委員会)の初会合をセレナホテルで開いた。関連のある官庁や厚生委員会、国連団体、NGO、市民などから高い地位の代表者が多く出席した。

NMCSは幼児死亡率の減少指標を監視しており、今後も年2回の会合を開いて母子の死亡率改善を検証する。

委員会の活動開始にあたり、ダリル医師は最近改正された「青少年の健康に関する政策」が4年間で施行される予定を説明した。改正された政策では避けることのできる死を防止するために、コミュニティと家庭のレベルで治療・予防サービスを行い、正しい保健教育と保健サービスを提供することで子供の栄養レベルを改善することを目標としている。

経済促進のための新たな鉄道計画

アフガニスタンとウズベキスタンの路線及び中央アジアに繋げるハイラトン-マザリ・シャリフ間の50キロメートルの鉄



道路線の工事は進んでいる。計画は現在4ヶ月かかっており、あと4ヶ月で完成する。

この鉄道はアフガニスタンの輸入の半分を担う境界線を通るため石油、食料、消費財と建築物資の輸送が今までの二倍以上になるといわれる。

この鉄道は北部の経済発展を促す重要な財産になるだけでなく、人口30万人以上の都市であるマザリ・シャリフを輸送拠点とする。

この計画はアフガニスタンの都市と隣国の都市を鉄道で繋げる計画のひとつに過ぎない。ハザラット・オマール・ザキワル財務大臣は『四年後か五年後には北を東を通るヘラート をマザリ・シャリフとシェルカン・バンダールに繋げる計画も、カンダハール とチャーマンを繋げる計画も完成するだろうと話す。

ハイラトン-マザリ・シャリフ間鉄道計画はアジア開発銀行の援助を受けている。

パクティア地区がパシュトー語の詩を讃える

パクティア文化と文学協会が恒例の“ナシュタール”詩のシンポジウムをガルデズ市で開催した。

参加したのは数百人の詩人、ライター、識者、学者、議員、地域政府当局、アフガニスタンの国連アシスタンス・ミッション (UNAMA)、そしてパシュト文学と詩を溺愛する人々。カブール、Nナンガルハル、コスト、ガズニ、カンダハル、ザブール、クナール、ラグマン、マイダン、ワルダク、パクチカ、といった地域から参加した。

このイベントは若者、特に新進気鋭の詩人に愛、平和、安定や統一といったメッセージを朗吟することで表現の機会を与えることを目的としたものだ。

参加した詩人はターバンや“グラボナ”というパクティアのポエムと伝記の特製コレクション等をプレゼントとして表彰された。

音楽の復活を試みる学校

数ヶ月前からカブールで、新ナショナル・インスティテューション・オブ・ミュージックがカリキュラムを提供し始めた。カリキュラムは今月下旬に正式にスタートする。既に150人の生徒が所属しており、さらに300人ほどの参加が予想されている。この学校は、音楽の伝統に新たな注目をすること、学校に適任の教師を集めること、そして国内初のシンフォニーオーケストラを結成することを目指している。

(Continued on page 3)

学校では音楽だけでなく、英語、数学、歴史の授業も提供しているが、生徒は10年間で伝統に触れ、新しい楽器をマスターし、アフガニスタンの音楽の歴史を勉強する。また、生徒は伝統的な音楽を学ぶと同時に西アジアや西欧の音楽についても学ぶ。

この学校は2001年にアハマド・サラマスト氏がアフガニスタン教育省とオーストラリアのモナッシュ大学と共同で設立した。ドイツ政府とジャーマン・ソサイエティ・オブ・ミュージック・マーチャントからも楽器が支援された。カリキュラムはロンдон国立音大と共同で作成された。

サーカスに出口を見出す子供たち

西カブールのアフガニスタン教育児童サーカスでは子供たちが歌と、ジャグリングの練習をしている。

トレーナーのハミッド・ルーバンはサーカスの人気について「今や我々がどこへ行っても、子供たちは参加しがります」と言う。

子供たちは鮮やかな衣装を身に纏いながら様々な見世物を練習している。子

供たちは国内の16の州やヨーロッパや日本の孤児院、市街、学校、イベントで踊りやタンブリングの講演をしたことがある。年長の子供たちはサーカスを見に来れない人々のために、ラジオ局やテレビ局で訓練を受けつつ放送の手助けをしている。

カブールのセンターは冬の間350人もの子供たちを魅了した。サーカス団はヘラットとバーミヤンにセンターを開いており、今年中にはあと2つセンターを建てる予定である。

テレビ番組“オンザロード”の見せるアフガニスタンの進歩

アフガニスタンの初めての旅行番組である“オンザロード”は土曜日の夜に人々の注目を集めている。番組のホストのムジブ・アレズは“探検者であり教師”と呼ばれており、彼の旅はアフガニスタンの様々な場所を発展の例として見せている。

番組の中でムジブは歴史的なシルクロードに沿って舗装された幹線道路やカンダハールの発電所を訪れた。旅の途中彼は現地の食べ物を味わい、現地のゲームで遊び、アフガニ



スタン人たちに彼らの生活と歴史について聞いた。

この番組はアフガニスタンの最も大きい民営テレビ局であるトロテレビによって製作されており、さらに米国国際開発庁によって支援されている。

“オンザロード”とトロテレビは、アフガニスタンにおいて急激に成長するメディアと繁栄し始めた娯楽産業の例である。今では20以上のラジオ局とテレビ局が数ヶ国語で放送しており、映画産業も成長し始めている。

スキー産業の発展

バーミヤンの観光産業は国内と海外共に急激に発達している。美しい池、歴史的な仏教美術の世界、そして国内最初の国立公園、とアメリカのスキーコンサルタントはアフガニスタン中部が最高の“内地スキー場”になり得ると言う。

知事やアガ・カーン開発ネットワーク、そしてニュージーランド政府といったキーサポーター達はスキー産業と“エコ観光業”を発展させたいと思っている。

数年間でバーミヤンはスキーレンタルビジネスを提供できる可能性を持っている。初心者をつぺんまで連れて行くリフトと初心者用のゲレンデ、さらにはヘリスキーだってできるかもしれない。

独特の風景はスキーヤーに雪景色の下で農家が牛車で畑を耕す様子もみせてくれる。



(Continued from page 3)



去年、バーミヤンの名所は1560人の国内観光客と756人の国外観光客によって訪れられ、観光事業機関が情報を集めている3つのホテルにおいて年間\$250,000の収入をもたらした。

しかしバーミヤンのエコ観光業マネージャーのアミール・フォラディはそれをさらに増加させたいと考えている。2015年までに116のホテルベッドを1000まで増やし、最低でも1000の新たな雇用を生み出したいとしている。毎年10,000人の海外観光客と100,000人の国内観光客を記録し、この地域でドライバーやレストラン、お土産店などを除いても\$5,000,000の利益を上げること目標としている。

アフガニスタンがアジアの重量挙げで優勝

アリ・ラザ・ラフェザダがライバルのイラン選手をくだし、アジアでナンバーワンの重量挙げ選手となった。7日間のアジア重量挙げチャンピオンシップはモンゴルにて46カ国が出場して行われた。ラフェザダは4人のアフガン選手のうちの一人で、彼らは全員金メダルを獲得した。

ラフェザダは28歳のヘラト地区出身、125キロのカテゴリーで出場した。彼によると彼はライバルのイランの選手(前回のチャンピオン)より7キロ多く挙げ

た。イランの選手は銀メダル、ホスト国モンゴルの選手は銅メダルを獲得した。

オリンピック協会のザヒール・アクバル会長はラフェザダの成功は国全体の功績であり、アフガニスタンがこのような大きな大会に優勝したことは初めてだと述べた。

他の3人の選手の名前はジャミール・アラブ、アリ・アハマド・シャハビ、ムハメド・ナダール・ムジャディディだった。



女性ジャーナリストによるヘラトの女性ジャーナリストセンターの開設

現在ヘラト大学から平均して毎年20人ほどの女性がジャーナリズム学部を卒業している。これらの卒業生とその他の熱意のある女性ジャーナリストを支援するために、フォウジア・ファキーリは二ヶ月前女性ジャーナリズムセン

ターを開いた。このセンターは女性ジャーナリスト学部卒業生を訓練し彼女たちが報道関係の職業を見つけることを助けることを目的としている。訓練は既に10人のメンバーに対して始まっている。

ファキーリは彼女のジャーナリストの友人、国際治安支援部隊に発行されている新聞で働いているマスメ・ハサンと、ドイチェ・ヴェレ・ラジオで働いているパルワナ・アリザドとともにこのセンターを立ち上げた。

ファキーリはディリジェンス・インディカティブ・オブ・アフガン・ウーマンで働きながらサハールラジオ(オールウーマンラジオ)のニュースキャスターとして4年間働きつつ、ワタンダールラジオといくつかの地域雑誌に協力している。今彼女はメディアのほかの人々を助けることに熱中しており、女性ジャーナリズムセンターでのメディアに特化した非政府組織の訓練に時間を割いている。

ファキーリの夢は限りない。“私は女性のためのインターネットカフェを作りたい。私達はまた女性によって取られた写真を展示して、来場者にブックレットも販売したいです。”

今後のイベント & 重要な日程

シルクロードとアフガン難民からの織物とジュエリーの展示会

4月28日 - 5月19日
広島、テングスクエア
082-248-1128
(5月12日は休館日)

5月20日 - 6月16日
広島、ニシムラギャラリー
090-3748-0459
(5月26日と6月9日は休館日)

平和ジルガ

6月2日以降
カブール、アフガニスタン

オマールの台所



毎月、大使館シェフのオマールが正統アフガン料理のレシピを提供します。

ブラネー カドゥ (カボチャのバンジャン)



Ingredients:

- カボチャ 3パウンド (1360.8グラム)
- 水 1カップ
- 油 1オンス(29.6cc)
- 刻んだ玉ねぎ 11グラム
- 油 2オンス(59.2cc)
- 挽牛肉 1パウンド(453.6グラム)
- つぶしたトマト 1カップ
- プレーンヨーグルト 8オンス(236.8cc)
- つぶしたニンニク 2かけら
- お好みで塩と唐辛子
- 粉にしたシナモンスティック 1テーブルスプーン

To cook:

カボチャの皮と種を取り除き、およそ5センチ×2.5センチの大きさに切り分けます。厚手のなべに水と1/4カップの油とカボチャを入れ、沸騰させます。熱を下げてかき混ぜながら、水を蒸発させてカボチャが柔らかくなるまで煮込みます。(15-20分程度。)水分をきり、盛り皿に盛って冷めないようにしておきます。

フライパンに2オンスの油で玉ねぎを茶色くなるまで炒めます。フォークでくずした挽肉(少しずつ砕くとくっつかない)を足し、やや茶色になるまで揚げます。塩、唐辛子とシナモンを足し、さらに5分間炒めます。肉を炒めている間につぶしたニンニクを小さなボウルに入れ、ヨーグルトと塩を足しながら混ぜます。

盛り付け: カボチャののった盛り皿にミートソースをかけます。ヨーグルトをのせ、すぐにお召し上がりください。

6人前

Language Lesson

アフガニスタンでは多くの言葉が話されていますがそのうちの二つが国の公用語に制定されています。パシュトー語とダリ語です。語彙とフレーズのサンプルラジオは下記のウェブサイトを参照してください。
<http://www.afghanembassyjp.org/en/life/?pn=226>

日本語	パシュトー語	ダリ語
(電話をとるとき) もしもし	Sallam malekum. サラーム マレクム	Sallam malek bale bofarmayen. サラーム マレク バレ ボファル マイエン
どちら様ですか？	Sook khabare kawee? ソーク カバレ カウエー？	Esme shoma? エスメ ショマ？
こちらは～	~~khabare kawome カバレ カオメ	~~astam アスタム
少々お待ちいただけますか？	Lejh saber wokoi? レジ サベル オコイ？	Lotfan kame saber koned? ロッフアン カメ サベル コネ ド？
お待たせしました。	Wobakhowi montazer showoii. オバクホウイ モンタゼル ショオイー	Tashakor az entarzar tan タシャコー アズ エンタルザル タン
すみません、番号を間違えました。	Bakhana ghowaram number ghalata da. バクハナ ゴーワラム ナン バー ガラタ ダ	Mazarat mekhoham nomra esteba shoda. マザラト メクホハム ノムラ エ ステバ ショダ
伝言をお願いできますか？	Tsue payam lare? ツエ ペアム ラレ？	Che payam dareid? チェ ペアム ダレイド？

Embassy of Afghanistan in Tokyo

2-2-1 Azabudai,
Minato ward, Tokyo
106-0041

Domestic

Tel: 03-5574-7611
Fax: 03-5574-0195

Overseas

Tel: +81-3-5574-7611
Fax: +81-3-5574-0195

Website

www.afghanembassyjp.org



お問い合わせ

このニュースレターまたは大使館へのご意見、ご質問、ご提案がございましたら大使館役員のジェイソン・プラットまでメールの送信をお願いします。

pratt@afghanembassyjp.org